

日本語IMEを  
使いこなそう！

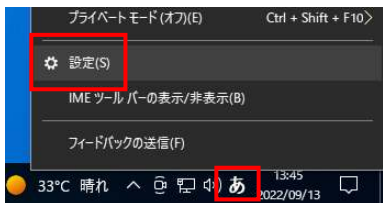
## IMEの設定で入力を効率化！

電話やFAXよりもメールでのやり取りが主流になったこともあり、文字入力する機会が多くなりました。タイピングは慣れれば速くなりますが、同じ内容を何度も入力するのは面倒だし、変換ミスの誤字も気になります。そこで今回は、日本語入力ソフト(IME)の機能を利用して入力を楽にする方法をご紹介します。

### 予測入力を活用しよう！

途中まで文字を入力すると、その文字で始まる言葉を予測して候補を表示する予測入力。よく使用する言葉ほど上位に表示されるので、文章単位で入力する癖を付ければ、長い文章が候補に表示されるようになり入力の効率が上がります。

IMEアイコンを右クリックして「設定」を選択します。



「設定」画面の「全般」をクリックして「予測入力」の項目を探して下さい。予測変換を表示するまでの文字数を選択できますが、2文字以上がおススメです

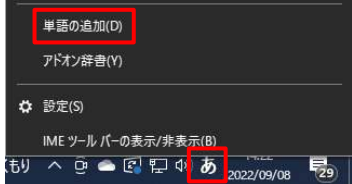


設定した文字数を入力すると、変換候補が表示されますが、誤変換など不要な候補が表示されたら「X」をクリックして削除しておきましょう。

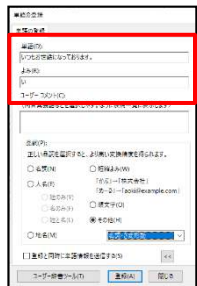
### よく使う単語や文章は、登録しておこう！

「単語の登録」機能を利用すると入力が楽になります。単語だけでなく60文字以内の文章も登録できるので、よく使う定型文を登録しておくといでしょう。

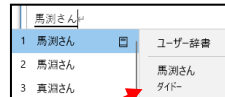
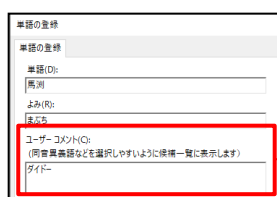
IMEアイコンを右クリックして「単語の追加」を選択します。



「単語」に登録する文字列、「よみ」に単語の読み方やキーワードを入力し、品詞を選択して登録します。画面にも書かれています。品詞を正しく登録すると変換精度が上がります。



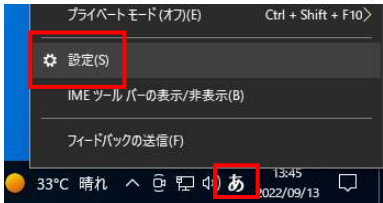
ダイーの「まぶち」さんは「馬淵」or「馬淵」？紛らわしい同音異義語はユーザーコメントを登録しておくことと変換候補に表示されるので、うっかりミスを防げます。



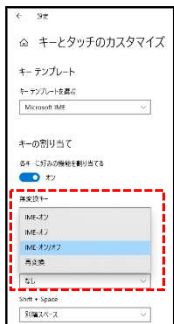
### 好みに合わせて設定を見直そう！

簡単な設定変更で、もっと入力が楽になるかもしれません。IMEがどんな設定になっているか確認してみましょう。

IMEアイコンを右クリックして「設定」を選択します。

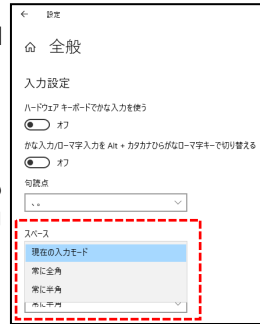


「キーとタッチのカスタマイズ」ではキーの割り当てを変更できます。通常[半角/全角]キーで切り替えるIMEオン/オフを、2020年春以降のアップデートを適用したWindowsなら、[変換]キーと[無変換]キーを使用することも可能です。



「全般」では入力時の詳細を設定できます。

例えば、スペースキーを押した際に入力される空白や、デンキーから入力する数値を、入力モードに合わせて常に「全角」や「半角」にするように設定することも可能です。

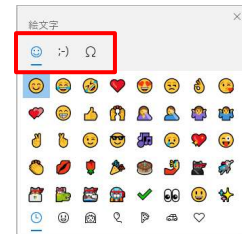


## 記号や絵文字の入力も楽々！

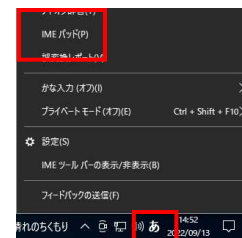
数式や単位など、記号を入力したい時どうしてしますか？記号は「読み」を入力することで変換候補に表示されることがあります。下記は一例です。

○(まる) ×(ばつ) △(さんかく) ■(しかく)  
¥(えん) \$ (ドル) ÷(わる) π(ぱい)  
≧(だいなり) ≦(しょうなり) または不等号

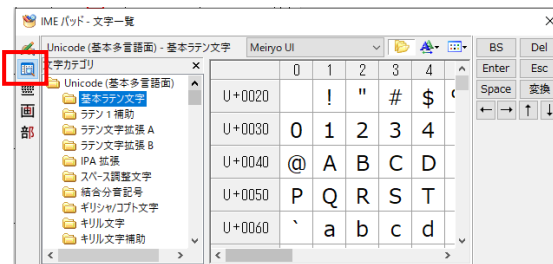
顔文字を入力したい時は「かお」で変換してみましょう。また、[Windows]キーを押しながら[.] (ピリオド)キーを押すと、絵文字パネルが表示されます。「絵文字/顔文字/記号」を選択すると候補が表示されます。



パネルにない特殊な記号は「IMEパッド」から探しましょう。IMEアイコンを右クリックして「IMEパッド」を選択します。



「文字一覧」をクリックして、カテゴリを選択すると、候補が表示されます。



※「環境依存」と表示される文字は、機種や環境によって表示が異なることがあるので注意が必要です。

## 開発室から



庭の栗の木が実をつけるようになって3年目の秋になりました。今年はまだ青いと思っていたら、栗の木の下にいくつもの茶色のイガが落ちてました。中には大きな栗の実が詰まっています。大慌てで栗拾いです。中には既に虫に喰われて穴が開いているものもありましたが、今年の初収穫は大きな粒が24粒です。去年は100粒ほど穫れたので、今年も今から楽しみです。

